

試験参加施設

医療機関名	科名	研究責任者	コーディネーター
北海道大学病院	血液内科	今村 雅寛	重松 明男
国立病院機構 北海道がんセンター	血液内科	黒澤 光俊	鈴木 左知子
手稲溪仁会病院	消化器病センター	安藤 精章	姜 貞憲
特定医療法人北楡会 札幌北楡病院	内科	中田 匡信	中田 匡信
東北大学病院	血液・免疫科	張替 秀郎	大西 康
秋田大学医学部附属病院	第3内科	澤田 賢一	亀岡 吉弘
群馬大学医学部附属病院	血液内科	塚本 憲史	三井 健揮
千葉県がんセンター	腫瘍血液内科	熊谷 匡也	辻村 秀樹
国立病院機構 千葉東病院	消化器科	小島 広成	小島 広成
国立がん研究センター中央病院	血液内科	渡辺 隆	丸山 大
国立がん研究センター東病院	化学療法科	伊藤 國明	伊藤 國明
埼玉医科大学国際医療センター 包括的がんセンター	造血管腫瘍科	新津 望	郡 美佳
北里大学病院	血液内科	東原 正明	渡邊 真彰
神奈川県立がんセンター	化学療法科	本村 茂樹	高崎 啓孝
横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科	酒井 リカ	藤澤 信
東海大学医学部附属病院	血液・腫瘍科	安藤 潔	小島 稔
NTT 東日本 関東病院	血液内科	臼杵 憲祐	半下石 明
藤沢市民病院	血液膠原病科	藤巻 克通	藤巻 克通
東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科	土橋 史明	横山 洋紀
虎の門病院	血液内科	谷口 修一	伊豆津 宏二
大和市立病院	血液内科	橋本 千寿子	橋本 千寿子
国立病院機構 災害医療センター	血液内科	関口 直宏	関口 直宏
順天堂大学医学部附属順天堂医院	血液内科	小松 則夫	磯部 泰司
東京慈恵会医科大学附属第三病院	腫瘍・血液内科	薄井 紀子	薄井 紀子
東京都立駒込病院	化学療法科	岡元 るみ子	岡元 るみ子
埼玉県立がんセンター	血液内科	小林 泰文	久保田 靖子
横浜市立大学附属病院	リウマチ・血液・ 感染症内科	藤田 浩之	富田 直人
名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科	小椋 美知則	内田 俊樹
愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法科	山本 一仁	山本 一仁
豊橋市民病院	血液・腫瘍内科	杉浦 勇	杉浦 勇
大垣市民病院	血液内科	小杉 浩史	小杉 浩史
名古屋市立大学病院	血液・膠原病内科	楠本 茂	稲垣 淳
名古屋第一赤十字病院	血液内科	宮村 耕一	小山 大輔
豊田厚生病院	血液内科	鏡味 良豊	澤本 晶代
愛知厚生連 海南病院	血液内科	矢野 寛樹	矢野 寛樹
山田赤十字病院	内科	臼井 英治	臼井 英治
国立病院機構 名古屋医療センター	血液内科	永井 宏和	永井 宏和
名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科学	木下 朝博	島田 和之

浜松医科大学医学部附属病院	血液内科	大西 一功	重野 一幸
愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	血液内科	伊藤 達也	稲垣 裕一郎
愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科	森下 剛久	綿本 浩一
名古屋記念病院	血液・化学療法科	片岡 孝江	片岡 孝江
三重大学医学部附属病院	血液内科	宮崎 香奈	宮崎 香奈
愛知医科大学付属病院	血液内科	仁田 正和	花村 一朗
名古屋市立東部医療センター 東市民病院	第二内科	脇田 充史	脇田 充史
藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科	恵美 宣彦	岡本 昌隆
信州大学医学部	内科学第二	田中 榮司	梅村 武司
福井大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科	岸 慎治	岸 慎治
金沢医科大学病院	血液・リウマチ膠原病科	正木 康史	正木 康史
滋賀県立成人病センター	血液・腫瘍内科	鈴木 孝世	内海 貴彦
京都府立医科大学附属病院	血液・腫瘍内科	谷脇 雅史	南 祐仁
大阪市立大学病院	肝胆膵内科	田守 昭博	田守 昭博
兵庫県立がんセンター	血液内科	村山 徹	五明 広志
倉敷中央病院	血液内科	上田 恭典	前田 猛
岡山大学病院	血液・腫瘍内科	品川 克至	遠西 大輔
島根大学医学部附属病院	腫瘍センター・血液内科	鈴宮 淳司	高橋 勉
愛媛大学医学部附属病院	第一内科	薬師神 芳洋	渡部 千恵美
国立病院機構九州がんセンター	血液内科	鶴池 直邦	崔 日承
大分県立病院	血液内科	佐分利 能生	佐分利 能生
佐賀大学医学部附属病院	血液内科	木村 晋也	福島 伯泰
NTT 西日本九州病院	血液免疫内科	下村 泰三	下村 泰三
熊本大学医学部	血液内科	野坂 生郷	野坂 生郷
国立病院機構 熊本医療センター	内科	日高 道弘	日高 道弘
佐世保市立総合病院	内科	森内 幸美	森内 幸美
長崎大学医学部・歯学部附属病院	血液内科	塚崎 邦弘	福島 卓也
国立病院機構 長崎医療センター	内科	吉田 真一郎	吉田 真一郎
財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科	宇都宮 與	宇都宮 與
鹿児島大学病院	血液・膠原病内科	魚住 公治	鈴木 紳介

試験参加予定 合計 68 施設

IRB 承認 合計 68 施設

(2011 年 2 月 10 日現在)

最新の参加施設一覧は <http://www.c-shot.or.jp/> を参照

Ⅱ. 研究成果の刊行一覧

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
○楠本茂、 田中靖人	Rituximab治療時のB型肝炎ウイルスの再活性化	金倉譲、鈴木律朗、伊豆津宏二、山口素子	血液診療エキスパート悪性リンパ腫	中外医学社	東京	2010年6月	284-286
○楠本茂、 田中靖人	HBs抗体陽性のB細胞性悪性リンパ腫。リツキサンの投与はどうしよう？	押味和夫、木崎昌弘、松村到	造血器腫瘍治療 これは困ったぞ、どうしよう！第2版	中外医学社	東京	2010年10月	175-178
○楠本茂、 田中靖人	肝炎ウイルスキャリアへの対策	堀田知光、飛内賢正、木下朝博	悪性リンパ腫治療マニュアル改訂第3版	南江堂	東京	2009年12月	92-96
○楠本茂、 田中靖人	HBs抗原陰性、HBs抗体陽性のB細胞性リンパ腫患者の治療で注意する点は？	金倉譲、木崎昌弘、鈴木律朗、神田善伸	EBM 血液疾患の治療 2010-2011	中外医学社	東京	2009年10月	365-369
○楠本茂、 田中靖人	悪性リンパ腫治療中のB型肝炎ウイルス再活性化とその対策	飛内賢正	よくわかる悪性リンパ腫のすべて	永井書店	東京	2008年	361-371
小椋美知 則	イブリツモマブ・チウキセタン (ibratumomab tiuxetan) によるindolent B細胞リンパ腫治療の展望	堀田知光ほか	血液フロンティア 2010年別冊 血液疾患における分子標的治療 ～ドラッグラグ解消に向けて～	医薬ジャーナル社	日本	2010	106-112
小椋美知 則	Calicheamicin抱合ヒト化抗CD22抗体 (CMC544) の開発状況	堀田知光ほか	血液フロンティア 2010年血液疾患における分子標的治療 ～ドラッグラグ解消に向けて～	医薬ジャーナル社	日本	2010	119-125

小椋美知 則 他	難治性悪性リンパ腫の治療戦略	小椋美知則	血液フロンティア	医薬ジャーナル社	東京・大阪	2010	17-84
小椋美知 則	中悪性度リンパ腫—びまん性大細胞型B細胞リンパ腫：DLBCLを中心に—	吉田彌太郎	血液疾患診療ハンドブック	医薬ジャーナル社	東京。大阪	2009	387-402
小椋美知 則	リツキシマブ	西條 長宏	がん薬物療法学—基礎・臨床研究のアップデート—	日本臨床社	東京	2009	246-257
木下朝博	濾胞性リンパ腫の治療	鈴木律朗、伊豆津宏二、山口素子	悪性リンパ腫	中外医学社	東京	2010	50-63
木下朝博	Burkittリンパ腫（BL）	新津望	悪性リンパ腫—診療ハンドブック	南江堂	東京	2010	128-129、 134-137
木下朝博、満間綾子	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	直江知樹、小澤敬也、中尾眞二	血液疾患最新の治療2011-2013	南江堂	東京	2010	195-198
木下朝博	胃MALT(mucosa-associated lymphoid tissue)リンパ腫に対するHelicobacter pylori除菌のエビデンス奏効例のエビデンスと抵抗例の治療は？	大津敦、古瀬純司、中川和彦、徳田裕、南博信、畠清彦、田村和夫	EBM—がん化学療法・分子標的治療法	中外医学社	東京	2010	503-506
木下朝博	悪性リンパ腫	松田暉、荻原俊男、難波光義、鈴木久美、林直子	疾病と治療II	南江堂	東京	2010	271-275
木下朝博	末梢性T細胞リンパ腫、非特定型	押味和夫	悪性リンパ腫の基礎と臨床改訂版	医薬ジャーナル社	大阪	2011	450-460
島田 和之、木下朝博	リンパ球系 血管内大細胞型B細胞リンパ腫の治療	高久史麿、小澤敬也、坂田洋一、金倉 譲、小島勢二	Annual Review血液 2010	中外医学社	東京	2010	119-123

木下 朝博	低悪性度リンパ腫	吉田彌太郎	血液疾患診療 ハンドブック -診療の手引 きと臨床デー タ集 改訂版	南江堂	東京	2009	363-386
満間 綾 子、 木下 朝博	中悪性度非ホジキ ンリンパ腫	直江知樹	現場で役立つ 血液腫瘍治療 プロトコール 集	医薬ジ ャーナル 社	大阪	2009	114-122
木下 朝博	濾胞性リンパ腫の 治療成績はリツキ シマブ時代になっ て向上している か？	金倉譲、木 崎昌弘、鈴 木律朗、神 田善伸	EBM血液疾患 の治療	中外医学 社	東京	2009	283-288
木下 朝博	非ホジキリンパ腫	山口 徹、 北原 光 夫、福井 次矢	今日の治療方 針 私はこう 治療している	医学書院	東京	2009	555-557
木下 朝博	非ホジキリンパ腫	日本臨床腫 瘍学会	新臨床腫瘍学	南江堂	東京	2009	719-730
木下 朝博	予後予測因子と予 後予測モデル	木下 朝博、 飛内 賢 正、堀田 知光	悪性リンパ腫 治療マニユ アル	南江堂	東京	2009	69-72
木下 朝博	抗体療法の実際 Rituximab	木下 朝博、 飛内 賢 正、堀田 知光	悪性リンパ腫 治療マニユ アル	南江堂	東京	2009	97-102
木下 朝博	限局期中悪性度リ ンパ腫	木下 朝博、 飛内 賢 正、堀田 知光	悪性リンパ腫 治療マニユ アル	南江堂	東京	2009	157-160
木下 朝博	第10章 血液腫瘍 3. 濾胞性リンパ腫	中川和彦、 勝俣範之、 西尾和人、 島清彦、 朴成和	Cancer Treatment Navigator	メディカ ルレビュー 社	東京	2008	198-199
木下 朝博	C. 血液疾患の症候 と所見を学ぶ リ ンパ節腫脹	小澤敬也、 直江知樹、 坂田洋一	講義録 血液 ・造血器疾患 学	メジカル ビュー社	東京	2008	58-59
木下 朝博	C. 血液疾患の症候 と所見を学ぶ 脾 腫	小澤敬也、 直江知樹、 坂田洋一	講義録 血液 ・造血器疾患 学	メジカル ビュー社	東京	2008	60-61
木下 朝博	D. 血液学的検査 の基本を学ぶ リ ンパ節生検	小澤敬也、 直江知樹、 坂田洋一	講義録 血液 ・造血器疾患 学	メジカル ビュー社	東京	2008	82-83

鈴木 孝 世	胃のリンパ腫	飛内賢正、 堀田知光、 木下朝博	悪性リンパ腫 治療マニユ アル	南江堂	東京	2009	208-211
-----------	--------	------------------------	-----------------------	-----	----	------	---------

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
○ <u>Kusumoto S, Tanaka Y, Ueda R, Mizokami M.</u>	Reactivation of hepatitis B virus following rituximab-plus-steroid combination chemotherapy.	J Gastroenterol	46	9-16	2011
○Sugauchi F, <u>Tanaka Y, Kusumoto S, Matsuura K, Sugiyama M, Kurbanov F, Ueda R, Mizokami M.</u>	Virological and clinical characteristics on reactivation of occult hepatitis B in patients with hematological malignancy.	J Med Virol.	83	412-8J	2011
○ <u>Kusumoto S, Tanaka Y, Mizokami M, Ueda R.</u>	Clinical significance of hepatitis B virus (HBV)-DNA monitoring to detect HBV reactivation after systemic chemotherapy.	J Clin Oncol.	29	e100	2011
Nagai H, Ogura M, <u>Kusumoto S</u> , Tkahashi N, Yamaguchi M, Takayama N, Kinoshita T, Motoji T, Ohyashiki K, Kosugi H, Matsuda S, Ohnishi K, Omachi K, Hotta T.	Cladribine combined with rituximab (R-2-CdA) therapy is an effective salvage therapy in relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma.	Eur J Haematol.	86	117-23	2011
Ennishi D, Maeda Y, Niitsu N, Kojima M, Izutsu K, Takizawa J, <u>Kusumoto S</u> , Okamoto M, Yokoyama M, Takamatsu Y, Sunami K, Miyata A, Murayama K, Sakai A, Matsumoto M, Shinagawa K, Takaki A, Matsuo K, <u>Kinoshita T</u> , Tanimoto M.	Hepatic toxicity and prognosis in HCV-infected patients with diffuse large B-cell lymphoma treated with rituximab-containing chemotherapy regimens: a Japanese multicenter analysis.	Blood	116	5119-25	2010
Sato F, Ito A, Ishida T, Mori F, Takino H, Inagaki A, Ri M, <u>Kusumoto S</u> , Komatsu H, Iida S, Okada N, Inagaki H, <u>Ueda R.</u>	A complement-dependent cytotoxicity-enhancing anti-CD20 antibody mediating potent antitumor activity in the humanized NOD/Shi-scid, IL-2Rγ(null) mouse lymphoma model.	Cancer Immunol Immunother.	59	1791-800	2010
○Yoshida T, <u>Kusumoto S</u> , Inagaki A, Mori F, Ito A, Ri M, Ishida T, Komatsu H, Iida S, Sugauchi F, <u>Tanaka Y, Mizokami M, Ueda R.</u>	Reactivation of hepatitis B virus in HBsAg-negative patients with multiple myeloma: two case reports.	Int J Hematol.	91	844-9	2010
○ <u>Kusumoto S, Tanaka Y, Mizokami M, Ueda R.</u>	Reactivation of hepatitis B virus following systemic chemotherapy for malignant lymphoma.	Int J Hematol.	90	13-23	2009

Ito A, Ishida T, Utsunomiya A, Sato F, Mori F, Yano H, Inagaki A, Suzuki S, Takino H, Ri M, Kusumoto S , Komatsu H, Iida S, Inagaki H, Ueda R .	Defucosylated anti-CCR4 monoclonal antibody exerts potent ADCC against primary ATLL cells mediated by autologous human immune cells in NOD/Shi-scid, IL-2R gamma(null) mice in vivo.	J Immunol.	183	4782-91	2009
Ding J, Komatsu H, Iida S, Yano H, Kusumoto S , Inagaki A, Mori F, Ri M, Ito A, Wakita A, Ishida T, Nitta M, Ueda R .	The Asn505 mutation of the c-MPL gene, which causes familial essential thrombocythemia, induces autonomous homodimerization of the c-Mpl protein due to strong amino acid polarity.	Blood	114	3325-8	2009
Inagaki A, Ishida T, Yano H, Ishii T, Kusumoto S , Ito A, Ri M, Mori F, Ding J, Komatsu H, Iida S, Ueda R .	Expression of the ULBP ligands for NKG2D by B-NHL cells plays an important role in determining their susceptibility to rituximab-induced ADCC.	Int J Cancer.	125	212-21	2009
Ri M, Iida S, Ishida T, Ito A, Yano H, Inagaki A, Ding J, Kusumoto S , Komatsu H, Utsunomiya A, Ueda R .	Bortezomib-induced apoptosis in mature T-cell lymphoma cells partially depends on upregulation of Noxa and functional repression of Mcl-1.	Cancer Sci.	4	[Epub ahead of print]	2008
Yano H, Kayukawa S, Iida S, Nakagawa C, Oguri T, Sanda T, Ding J, Mori F, Ito A, Ri M, Inagaki A, Kusumoto S , Ishida T, Komatsu H, Inagaki H, Suzuki A, Ueda R .	Overexpression of carboxylesterase-2 results in enhanced efficacy of topoisomerase I inhibitor, irinotecan (CPT-11), for multiple myeloma.	Cancer Sci	99	2309-14	2008
○楠本茂、田中靖人、溝上雅史	モニタリングによるB型肝炎再活性化の予防	日本消化器病学会雑誌	107	1441-9	2010
○楠本茂、上田龍三	リツキシマブ治療におけるB型肝炎ウイルスの再活性化	血液・腫瘍科(科学評論社)	60	36-40	2010
稲垣淳、楠本茂	がん患者におけるウイルス感染症	腫瘍内科(科学評論社)	5	329-37	2010
○楠本茂、田中靖人	癌化学療法中のB型肝炎ウイルスキャリアにおけるウイルス再活性化	検査と技術(医学書院)	38	1147-52	2010
○楠本茂、田中靖人	がん化学療法とB型肝炎ウイルス再活性化：血液腫瘍領域における問題点と今後の課題	血液・腫瘍科(科学評論社)	61	557-563	2010
Chou T, Tobinai K, Uike N, Asakawa T, Saito I, Fukuda H, Mizoroki F, Ando K, Iida S, Ueda R , Tsukasaki K, Hotta T; the Lymphoma Study Group (LSG) of Japan Clinical Oncology Group (JCOG), Japan.	Melphalan-Prednisolone and Vincristine-Doxorubicin-Dexamethasone Chemotherapy followed by Prednisolone/Interferon Maintenance Therapy for Multiple Myeloma: Japan Clinical Oncology Group Study, JCOG0112.	Jpn J Clin Oncol.		[Epub ahead of print]	2011

Grass S, Iida S, Wikowicz A, Preuss KD, Inagaki A, Shimizu K, Ziepert M, Ueda R , Pfreundschuh M.	Risk of Japanese carriers of hyperphosphorylated paratarg-7, the first autosomal-dominantly inherited risk factor for hematological neoplasms, to develop monoclonal gammopathy of undetermined significance and multiple myeloma.	Cancer Sci.	102	565-8.	2011
Ishida T, Ueda R .	Immunopathogenesis of lymphoma: focus on CCR4.	Cancer Sci.	102	44-50.	2011
Yamamoto K, Utsunomiya A, Tobinai K, Tsukasaki K, Uike N, Uozumi K, Yamaguchi K, Yamada Y, Hanada S, Tamura K, Nakamura S, Inagaki H, Ohshima K, Kiyoi H, Ishida T, Matsushima K, Akinaga S, Ogura M, Tomonaga M, Ueda R .	Phase I Study of KW-0761, a Defucosylated Humanized Anti-CCR4 Antibody, in Relapsed Patients With Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma and Peripheral T-Cell Lymphoma.	J Clin Oncol.	28	1591-8.	2010
Ishii T, Ishida T, Utsunomiya A, Inagaki A, Yano H, Komatsu H, Iida S, Imada K, Uchiyama T, Akinaga S, Shitara K, Ueda R .	Defucosylated Humanized Anti-CCR4 Monoclonal Antibody KW-0761 as a Novel Immunotherapeutic Agent for Adult T-cell Leukemia/Lymphoma.	Clin Cancer Res.	16	1520-31.	2010
Kikuchi M, Matsuura K, Matsumoto Y, Inagaki T, Ueda R .	Bibliographical investigation of complementary alternative medicines for osteoarthritis and rheumatoid arthritis.	Geriatr Gerontol Int.	9	29-40	2009
Kim SW, Mori SI, Tanosaki R, Fukuda T, Kami M, Sakamaki H, Yamashita T, Koderu Y, Terakura S, Taniguchi S, Miyakoshi S, Usui N, Yano S, Kawano Y, Nagatoshi Y, Harada M, Morishima Y, Okamoto S, Saito AM, Ohashi Y, Ueda R , Takaue Y.	Busulfex (i.v. BU) and CY regimen before SCT: Japanese-targeted phase II pharmacokinetics combined study.	Bone Marrow Transplant.	43	611-7	2009
Yano H, Ishida T, Imada K, Sakai T, Ishii T, Inagaki A, Iida S, Uchiyama T, Ueda R .	Augmentation of antitumor activity of defucosylated chimeric anti-CCR4 monoclonal antibody in SCID mouse model of adult T-cell leukaemia/lymphoma using G-CSF.	Br J Haematol	140	586-589	2008
Zhao C, Inoue J, Imoto I, Otsuki T, Iida S, Ueda R , Inazawa J.	Pou2AF1, an amplification target at 11q23, promotes growth of multiple myeloma cells by directly regulating expression of a B-cell maturation factor, TNFRSF17.	Oncogene	27	63-75	2008

Li C., Hibino M., Komatsu H., Sakuma H., Sakakura T., Ueda R. , Eimoto T., Inagaki H.	primary mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma of the prostate: tumor relapse 7 years after local therapy.	Pathol Int.	58	191-5	2008
Ohmura Y., Yoshikawa K., Saga S., Ueda R. , Kazaoka Y., Yamada S	Combinations of tumor-specific CD8+ CTLs and anti-CD25 mAb provide improved immunotherapy.	Oncol Rep.	19	1265-70	2008
Yamaguchi M, Nakamura N, Suzuki R , Kgami Y, Okamoto M, Ichinohasama R, Yoshino T, Suzumiya J, Murase T, Miura I, Ohshima K, Nishikori M, Tamaru J, taniwaki M, Hirano M, Morishima Y, Ueda R , Shiku H, Nakamura S	De novo CD5+ diffuse large B-cell lymphoma: results of a detailed clinicopathological review in 120 patients. Haematologica.	Haematologica.	93	1195-202	2008
Kondo E., Tanaka T., Miyake T., Ichikawa T., Hirai M., Adachi M., Yoshikawa K., Ichimura K., Ohara N., Moriwaki A., Date I., Ueda R. , Yoshino T.	Potent synergy of dual antitumor peptides for growth suppression of human glioblastoma cell lines.	Mol Cancer Ther.	7	1461-71	2008
Kikuchi M, Inagaki T, Hanaki H, Harada S, Ueda R.	Effects of olopatadine in limited scleroderma with peripheral eosinophils.	Geriatr Gerontol Int.	8	204-8	2008
Tsuruo T, Hirohashi, S, Nakamura Y, Ueda, R. , Takahashi T.	Japanese journal of Cancer Research becomes "Cancer Science".	Cancer Sci.			2008
Roman S, Tanaka Y , Khan A, Kurbanov F, Kato H, Mizokami M , Panduro A.	Occult hepatitis B in the genotype H-infected Nahua and Huichol native Mexican population.	J Med Virol.	82	1527-36.	2010
Yokosuka O, Kurosaki M, Imazeki F, Arase Y, Tanaka Y , Chayama K, Tanaka E, Kumada H, Izumi N, Mizokami M , Kudo M.	Management of hepatitis B: Consensus of the Japan Society of Hepatology 2009.	Hepatology Res.	41	1-21.	2011
Yuen MF, Ka-Ho Wong D, Lee CK, Tanaka Y , Allain JP, Fung J, Leung J, Lin CK, Sugiyama M, Sugauchi F, Mizokami M , Lai CL.	Transmissibility of Hepatitis B Virus (HBV) Infection through Blood Transfusion from Blood Donors with Occult HBV Infection.	Clin Infect Dis.	52	624-32.	2011
Kurbanov F, Tanaka Y , Mizokami M . Geographical and genetic diversity of the human hepatitis B virus.	Geographical and genetic diversity of the human hepatitis B virus.	Hepatology Res.	40	14-30	2010
Tatematsu K, Tanaka Y , Mizokami M , et al.	A genetic variant of hepatitis B virus divergent from known human and ape genotypes isolated from a Japanese patient and provisionally assigned to new genotype J.	J Virol.	83	10538-47.	2009

Ikegami T, Matsuki Y, Tanaka Y, Mizokami M , Honda A, Hirayama T, Saito Y, Matsuzaki Y.	Impact of determination of hepatitis B virus subgenotype and pre-core/core-promoter mutation for the prediction of acute exacerbation of asymptomatic carriers.	Hepatology Res.	39	341-5.	2009
Kurbanov F, Tanaka Y, Kramvis A, Simmonds P, Mizokami M .	When should "I" consider a new hepatitis B virus genotype?	J Virol.	82	8241-2	2008
Khan A, Tanaka Y, Saito H, Ebinuma H, Sekiguchi H, Iwama H, Wakabayashi G, Kamiya T, Kurbanov F, Elkady A, Mizokami M .	Transmission of Hepatitis B virus (HBV) Genotypes among Japanese Immigrants and Natives in Bolivia.	Virus Res.	132	174-80	2008
Elkady A, Tanaka Y, Kurbanov F, Oynsuren T, Mizokami M .	Virological and clinical implication of core promoter C1752/V1753 and T1764/G1766 mutations in hepatitis B virus genotype D infection in Mongolia.	J Gastroenterol Hepatol.	23	474-81	2008
Khan A, Kurbanov F, Tanaka Y, Elkady A, Sugiyama M, Dustov A, Mizokami M .	Epidemiological and clinical evaluation of hepatitis B, hepatitis C and delta hepatitis viruses in Tajikistan.	J Med Virol.	80	268-76	2008
Tobinai K, Ogura M , et al	Phase I study of LY2469298, an Fc-engineered humanized anti-CD20 antibody, in patients with relapsed or refractory follicular lymphoma	Cancer Sci.	102	432-8.	2011 Feb.
Ohmachi K, Ogura M , et al	Phase III trial of CHOP-21 versus CHOP-14 for aggressive non-Hodgkin's lymphoma: final results of the Japan Clinical Oncology Group Study, JCOG 9809.	Ann Oncol.	Epub ahead of print	Epub ahead of print	2010
Ogura M , et al.	Phase II study of ABVD therapy for newly diagnosed clinical stage II to IV Hodgkin lymphoma: Japan Clinical Oncology Group study (JCOG 9305).	Int J Hematol.	92	713-24	2010
Nagai H, Ogura M , et al.	Cladribine combined with rituximab (R-2-CdA) therapy is an effective salvage therapy in relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma.	Eur J Haematol.	86	117-23	2011

Tobinai K, <u>Ogura M</u> , et al	Phase I study of the oral mammalian target of rapamycin inhibitor everolimus (RAD001) in Japanese patients with relapsed or refractory non-Hodgkin lymphoma.	Int J Hematol.	101	2579-2585	2010
Tobinai K, <u>Ogura M</u> , et al.	Randomized phase II study of concurrent and sequential combinations of rituximab plus CHOP (cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine and prednisolone) chemotherapy in untreated indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma: 7-year follow-up results.	Cancer Sci.	101	2579-85.	2010
Ohmachi K, <u>Ogura M</u> , et al	Multicenter phase II study of bendamustine for relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma and mantle cell lymphoma.	Cancer Sci.	101	2059-64.	2010
<u>Ogura M</u> , et al	Phase I and pharmacokinetic study of bendamustine hydrochloride in relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma and mantle cell lymphoma.	Cancer Sci.	101	2054-8.	2010
<u>Ogura M</u> .	Targeted treatment and new agents in mantle cell lymphoma.	Int J Hematol.	92	25-32.	2010
<u>Ogura M</u> , et al	Phase I study of inotuzumab ozogamicin (CMC-544) in Japanese patients with follicular lymphoma pretreated with rituximab-based therapy.	Cancer Sci.	101	1840-5.	2010
Tobinai K, <u>Ogura M</u> , et al.	Phase I/II and pharmacokinetic study of cladribine with 2-h infusion in Japanese patients with relapsed indolent B-cell lymphoma mostly pretreated with rituximab.	Cancer Sci.	100	1344-50	2009
Tobinai K, <u>Ogura M</u> , et al.	Phase II study of oral fludarabine in combination with rituximab for relapsed indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma.	Cancer Sci.	100	1951-6	2009

Kato H, Ogura M , et al.	Favorable consolidative effect of high-dose melphalan and total-body irradiation followed by autologous peripheral blood stem cell transplantation after rituximab-containing induction chemotherapy with in vivo purging in relapsed or refractory follicular lymphoma.	Clin Lymphoma Myeloma.	9	443-8	2009
Nagai H, Kinoshita T , et al.	Cladribine combined with rituximab (R-2-CdA) therapy is an effective salvage therapy in relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma.	Eur J Haematol.	86	117-123	2011
Watanabe T, Kinoshita T , et al.	Pretreatment total serum protein is a significant prognostic factor for the outcome of patients with peripheral T/natural killer-cell lymphomas.	Leuk Lymphoma	51	813-821	2010
Tobinai K, Kinoshita T , et al.	all collaborators of the I-CBSGiJ. Randomized phase II study of concurrent and sequential combinations of rituximab plus CHOP (cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine and prednisolone) chemotherapy in untreated indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma: 7-year follow-up results.	Cancer Sci.	101	2579-2585	2010
Suzuki R, Kinoshita T , et al.	Prognostic factors for mature natural killer (NK) cell neoplasms: aggressive NK cell leukemia and extranodal NK cell lymphoma, nasal type.	Ann Oncol.	21	1032-1040	2010
Shimada K, Kinoshita T , et al.	Central nervous system involvement in intravascular large B-cell lymphoma: a retrospective analysis of 109 patients.	Cancer Sci.	101	1480-1486	2010
Ogura M, Kinoshita T , et al.	Phase II study of ABVd therapy for newly diagnosed clinical stage II-IV Hodgkin lymphoma: Japan Clinical Oncology Group study (JCOG 9305).	Int J Hematol.	92	713-724	2010

Itoh K, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Prognostic analysis and a new risk model for Hodgkin lymphoma in Japan.	Int J Hematol.	91	446-455	2010
Hagiwara K, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Aberrant DNA methylation of the p57KIP2 gene is a sensitive biomarker for detecting minimal residual disease in diffuse large B cell lymphoma.	Leuk Res.	34	50-54	2010
Ennishi D, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Hepatic toxicity and prognosis in HCV-infected patients with diffuse large B-cell lymphoma treated with rituximab-containing chemotherapy regimens: a Japanese multicenter analysis.	Blood	116	5119-5125	2010
Yamaguchi M, <u>Kinoshita T</u> , et al.,	Phase I/II study of concurrent chemoradiotherapy for localized nasal natural killer/T-cell lymphoma	J Clin Oncol	27	5594-5600	2009
<u>Suzuki R, Kinoshita T</u> , et al.,	Prognostic factors for mature natural killer (NK) cell neoplasms: aggressive NK cell leukemia and extranodal NK cell lymphoma, nasal type	Ann Oncol	21	1032-40.	2010
Sugimoto T, <u>Kinoshita T</u> , et al.,	Escape mechanisms from antibody therapy to lymphoma cells: downregulation of CD20 mRNA by recruitment of the HDAC complex and not by DNA methylation	Biochem Biophys Res Commun	390	48-53	2009
Shimada K, <u>Kinoshita T</u> , et al.,	Presentation and management of intravascular large B-cell lymphoma	Lancet Oncol	10	895-902	2009
Hiraga J, <u>Kinoshita T</u> , et al.,	Down-regulation of CD20 expression in B-cell lymphoma cells after treatment with rituximab-containing combination chemotherapies: its prevalence and clinical significance	Blood	113	4885-4893	2009
Hagiwara K, <u>Kinoshita T</u> , et al.,	Aberrant DNA methylation of the p57KIP2 gene is a sensitive biomarker for detecting minimal residual disease in diffuse large B cell lymphoma	Leuk Res	34	50-54	2010

Asano N, <u>Kinoshita T</u> , et al.,	Age-related Epstein-Barr virus (EBV)-associated B-cell lymphoproliferative disorders: comparison with EBV-positive classic Hodgkin lymphoma in elderly patients	Blood	113	2629-2636	2009
Inamoto Y, <u>Kinoshita T</u> , et al.,	Combinations of cytogenetics and international scoring system can predict poor prognosis in multiple myeloma after high-dose chemotherapy and autologous stem cell transplantation.	Am J Hematol	84	283-286	2009
Xu, J., <u>Kinoshita, T.</u> , et al.,	Clinical significance of nuclear non-phosphorylated beta-catenin in acute myeloid leukaemia and myelodysplastic syndrome.	Br J Haematol	140	394-401	2008
Shimoyama, Y., <u>Kinoshita, T.</u> , et al.,	Age-related Epstein-Barr virus-associated B-cell lymphoproliferative disorders: special references to lymphomas surrounding this newly recognized clinicopathologic disease.	Cancer Sci	99	1085-1091	2008
Shimada, K., <u>Kinoshita, T.</u> , et al.,	Retrospective analysis of intravascular large B-cell lymphoma treated with rituximab-containing chemotherapy as reported by the IVL study group in Japan.	J Clin Oncol	26	3189-3195	2008
<u>Kinoshita, T.</u> , et al., Shimada, K.,	Evaluation of organ involvement in intravascular large B-cell lymphoma by 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography.	Int J Hematol	88	149-153	2008
Shimada, K., <u>Kinoshita, T.</u> , et al.,	Sustained remission after rituximab-containing chemotherapy for intravascular large B-cell lymphoma.	J Clin Exp Hematop	48	25-28	2008
<u>木下朝博</u> 他	単クローン性γグロブリン血症における血清遊離軽鎖測定 of 臨床的有用性	臨床血液	51巻4号	245-252	2010
島田和之、 <u>木下朝博</u>	血管内リンパ腫	血液フロンティア	20巻2号	71-76	2010
島田和之、 <u>木下朝博</u>	Intravascular large B-cell lymphoma: これまでの研究成果と今後の課題	血液・腫瘍科	61巻1号	24-28	2010
<u>木下朝博</u>	プロテアソーム阻害薬 (ボルテゾミド) によるマントル細胞リンパ腫の治療	血液フロンティア	20巻別冊	150-156	2010

木下朝博	非Hodgkinリンパ腫	Medicina	47巻 13号	2156- 2158	2010
木下朝博	初発限局期DLBCLに対する標準的治療と最新の治療動向	臨床血液	51巻 10号	75-81	2010
富田 和之、 木下 朝博 他	【造血器腫瘍における薬剤耐性の機序とその対策】 悪性リンパ腫における抗CD20抗体の薬剤耐性機序	血液フロンティア	20巻1 号	61-69	2009
安藤 雄一、 木下 朝博 他	「がんプロフェッショナル養成プラン」の実態調査と満足度の解析	腫瘍内科	4巻2 号	175-182	2009
堀田 知光、 木下 朝博 他	限局期症例にどう対処するのか 限局期の定義、リスク因子、放射線治療の意義、再発例への対処	カレントセラピー	27巻8 号	728-737	2009
木下 朝博、 直江 知樹	【知っておきたい分子標的治療】 悪性リンパ腫、コンセンサス癌治療	コンセンサス癌治療	8巻2 号	102-105	2009
木下 朝博	【がんの分子標的治療の現状】 びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)	MEDICO	40巻6 号	224-227	2009
片山 良仁、 木下 朝博 他	悪性リンパ腫における脊椎病変の発生頻度と治療	整形外科	60巻 5号	401-405	2009
Suzuki R. , Suzumiya J., Yamaguchi M., Nakamura S., Kameoka J., Kojima H., Abe M., Kinoshita T., Yoshino T., Iwatsuki K., Kagami Y., Tsuzuki T., Kurokawa M., Ito K., Kawa K., and Oshimi K. for The NK-cell Tumor Study Group	Prognostic factors for mature natural killer (NK)-cell neoplasms: aggressive NK-cell leukemia and extranodal NK-cell lymphoma, nasal-type.	Ann Oncol	21	1032-1040	2010
Nagafuji K., Matsuo K., Teshima T., Mori S.I., Sakamaki H., Hidaka M., Ogawa H., Kodera Y., Kanda Y., Maruta A., Mori T., Yoshida F., Ichinohe T., Kasai M., Takatsuka Y., Kubo K., Sao H., Atsuta Y., Suzuki R. , Yoshida T., Tsuchida M. and Harada M.	Peripheral blood stem cell versus bone marrow transplantation from HLA-identical sibling donors in patients with leukemia: a propensity score-based comparison from the Japan Society for Hematopoietic Stem Cell Transplantation registry.	Int J Hematol	91	855-864	2010

Asakura M., Ikegame K., Yoshihara S., Taniguchi S., Mori T., Etoh T., Takami A., Yoshida T., Fukuda T., Hatanaka K., Kanamori H., Yujiri T., Atsuta Y., Sakamaki H., Suzuki R. and Ogawa H.	Use of foscarnet for cytomegalovirus infection after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation from a related donor.	. Int J Hematol	92	351-358	2010
Hishizawa M., Kanda J., Utsunomiya A., Taniguchi S., Eto T., Moriuchi Y., Tanosaki R., Kawano F., Miyazaki Y., Masuda M., Nagafuji K., Hara M., Takanashi M., Kai S., Atsuta Y., Suzuki R. , Kawase T., Matsuo K., Nagamura-Inoue T., Kato S., Sakamaki H., Morishima Y., Okamura J., Ichinohe T. and Uchiyama T.	Transplantation of allogeneic hematopoietic stem cells for adult T-cell leukemia: a nationwide retrospective study.	Blood	116	1369-1376	2010
Yoshimi A., Suzuki R. , Atsuta Y., Iida M., Lu D.-P., Tong W., Ghavamzadeh A., Alimoghaddam K., Lie A.K.W., Liang R., Chan L.L., Haipeng L., Tan P.-L., Hwang W.Y.K., Chiou T.-J., Chen P.-M., Binh T. V., Minh N.N., Min C.-K., Hwang T.-J., and Kodera Y. on behalf of Asia-Pacific Blood and Marrow Transplantation Group (APBMT)	Hematopoietic stem cell transplantation activity in Asia: a report from the Asia-Pacific Blood and Marrow Transplantation Group.	Bone Marrow Transplant	45	1682-1691	2010
Ishikawa Y., Kiyoi H., Watanabe K., Miyamura K., Nakano Y., Kitamura K., Kohno A., Sugiura I., Yokozawa T., Hanamura A., Yamamoto K., Iida H., Emi N., Suzuki R. , Ohnishi K. and Naoe T.	Trough plasma concentration of imatinib reflects the BCR-ABL kinase inhibitory activity and the clinical response in chronic-phase chronic myeloid leukemia: a report from the BILIGO study.	Cancer Sci.	101	2186-192	2010

Nishiwaki S., Inamoto Y., Sakamaki H., Kurokawa M., Iida H., Ogawa H., Fukuda T., Ozawa Y., Kobayashi N., Kasai M., Mori T., Iwato K., Yoshida T., Onizuka M., Kawa K., Morishima Y., Suzuki R. , Arita Y. and Miyamura K.	Allogeneic stem cell transplantation for adult Philadelphia chromosome-negative acute lymphocytic leukemia: comparable survival rates but different risk factors between related and unrelated transplantation in first complete remission.	Blood	116	4368-4375	2010
Suzuki R.	Treatment of advanced extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal-type and aggressive NK-cell leukemia.	Int J Hematol	92	697-701	2010
Inoue D., Nagai Y., Takiuchi Y., Nagano S., Arima H., Kimura T., Shimoji S., Mori M., Togami K., Tabata S., Yanagita S., Matsushita A., Nagai K., Maruoka H., Imai Y., Suzuki R. and Takahashi T.	Successful treatment of extranodal natural killer/T-cell lymphoma, nasal type, complicated by severe hemophagocytic syndrome, with dexamethasone, methotrexate, ifosfamide, L-asparaginase, and etoposide chemotherapy followed by autologous stem cell transplant.	Leuk Lymphoma	51	720-723	2010
Shimada K. and Suzuki R.	Concurrent chemoradiotherapy for limited-stage extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type.	J Clin Oncol	28	e404-e405	2010
Chihara D., Suzuki R.	More on crizotinib.	N Engl J Med	364	776- 777	2011
Miyazaki K., Yamaguchi M., Suzuki R. , Kobayashi Y., Maeshima A.M., Niitsu N., Ennishi D., Tamaru J.-I., Ishizawa K., Kashimura M., Kagami Y., Sunami K., Yamane H., Nishikori M., Kosugi H., Yujiri Y., Hyo R., Katayama N., Kinoshita T. and Nakamura S.	CD5-positive diffuse large B-cell lymphoma: A retrospective study in 337 patients treated by chemotherapy with or without rituximab.	Ann Oncol		in press	2011

Kako S., Morita S., Sakamaki H., Ogawa H., Fukuda T., Takahashi S., Kanamori H., Onizuka M., Iwato K., Suzuki R. , Atsuta Y., Kyo T., Sakura T., Jinnai I., Takeuchi J., Miyazaki Y., Miyawaki S., Ohnishi K., Naoe T. and Kanda Y.	A decision analysis of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for adult patients with Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia in first remission who have an HLA-matched sibling donor.	Leukemia		in press	2011
Terakura S., Atsuta Y., Sawawa M., Ohashi H., Kato T., Nishiwaki S., Imahashi N., Yasuda T., Murata M., Miyamura K., Suzuki R. , Naoe T., Ito T. and Morishita Y. for the Nagoya Blood and Marrow Transplantation Group	A prospective dose-finding trial using a modified continual reassessment method for optimization of fludarabine plus melphalan conditioning for marrow transplantation from unrelated donors in patients with hematopoietic malignancies.	Ann Oncol		in press	2011
Iida M., Fukuda T., Ikegami K., Yoshihara S., Ogawa H., Taniguchi S., Takami A., Abe Y., Hino M., Eto T., Ueda Y., Yujiri T., Matsui T., Okamura A., Tanaka J., Atsuta Y., Koderay. and Suzuki R.	Use of mycophenolate mofetil in patients received allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in Japan.	Int J Hematol		in press	2011
Nishiwaki S., Inamoto Y., Imamura M., Tsurumi H., Hatanaka K., Kawa K., Suzuki R. and Miyamura K.	Reduced-intensity versus conventional myeloablative conditioning allogeneic stem cell transplantation for patients with Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia in complete remission.	Blood		in press	2011
Atsuta Y., Suzuki R. , Nagamura-Inoue T., Taniguchi S., Takahashi S., Kai S., Sakamaki H., Kouzai Y., Kasai M., Fukuda T., Azuma H., Takanashi M., Okamoto S., Tsuchida M., Kawa K., Morishima Y., Koderay. Y., and Kato S. for the Japan Marrow Donor Program and the Japan Cord Blood Bank Network.	Disease-specific analyses of unrelated cord blood transplant compared with unrelated bone marrow transplant in adult patients with acute leukemia.	Blood	113	2096-2103	2009

Kuwatsuka Y., Miyamura K., Suzuki R. , Kasai M., Maruta A., Ogawa H., Tanosaki R., Takahashi S., Koda K., Yago K., Atsuta Y., Yoshida T., Sakamaki H.	Hematopoietic stem cell transplantation for core binding factor acute myeloid leukemia: t(8;21) and inv(16) represent different clinical outcomes.	Blood	113	6260-6261	2009
Suzuki R. , Suzumiya J. and Oshimi K.	Differences between nasal and extra-nasal NK/T-cell lymphoma.	Blood	113	6260-6261	2009
Inamoto Y., Ito M., Suzuki R. , Nishida T., Nishiwaki S., Iida H., Kohno A., Murata M., Sawa M., Oba T., Yanada M., Naoe T., Ichihashi R., Fujino M., Yamaguchi T., Morishita Y., Hirabayashi N., Kodera Y. and Miyamura K.	Clinicopathological manifestations and treatment of intestinal transplant-associated microangiopathy (i-TAM).	Bone Marrow Transplant	44	43-49	2009
Lee S.Y., Kumano K., Nakazaki K., Sanada M., Matsumoto A., Yamamoto G., Nannya Y., Suzuki R. , Ota S., Ota Y., Izutsu K., Sakata-Yanagimoto M., Hanganishi A., Yagita H., Fukayama M., Seto M., Kurokawa M., Ogawa S. and Chiba S.	Gain-of-function mutations and copy number increases of Notch2 in diffuse large B-cell lymphoma.	Cancer Sci	100	920-926	2009
Shimada K., and Suzuki R.	Concurrent chemoradiotherapy for limited-stage extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type.	J Clin Oncol	28	e229	2010
Hyo R., Tomita N., Takeuchi K., Aoshima T., Fujita A., Kuwabara H., Hashimoto C., Takemura S., Taguchi J., Sakai R., Fujita H., Fujisawa S., Ogawa K., Motomura S., Suzuki R. and Ishigatsubo Y.	The therapeutic effect of rituximab on CD5-positive and CD5-negative diffuse large B-cell lymphoma.	Hematol Oncol	28	27-32.	2010